

令和7年度

今帰仁村土地改良区土地改良事業計画書

(維持管理)

令和7年度土地改良事業計画変更に伴う計画書

地区名 : 今帰仁村土地改良区

所在地 : 今 帰 仁 村

事業主体 : 今帰仁村土地改良区

目

第 1 章	地域の現況	1
第 1 節	地域	1
第 2 節	地積	1
第 3 節	地区概要	2
第 2 章	地域の現況	3
第 1 節	地形	3
1.	地形、土壌及び侵食の程度	3 ~4
2.	土地分類	5
第 2 節	気象	6
1.	一般気象	6
2.	特殊気象	6
第 3 節	水利状況	7
1.	用水状況	7
2.	排水状況	7
第 4 節	耕地面積	8
1.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専業別農家数	8
2.	水田期別作付面積	9
第 3 章	維持管理計画	10
第 1 節	目的	10
第 2 節	かんがい施設関係	
1.	かんがい施設の種類、規模及び構造	10
(1)	地下ダム	10
(2)	貯水池	11
(3)	頭首工	12
(4)	用水路	12
(5)	用水路（県営）	12
(6)	付帯施設	12

次

第 3 節	用水施設関係	13
1.	用水施設関係	13
(1)	用水施設	13
(2)	用水路	13
第 4 節	農業用道路、その他のうちの保全又は利用上必要な 施設関係	14
1.	施設の種類	14
(1)	農業用道路	14
(2)	排水路（区画整理関連）	14
2.	維持管理の方法	14
第 5 節	他の事業との関係	
(1)	国営関連かんがい排水事業（末端かんがい施設）	15
(2)	国営関連かんがい排水事業（ため池）	16
(3)	維持管理の方法	16
第 4 章	事業費	17
1.	維持管理費の概算	17
2.	資金計画	17
第 5 章	効用	17

第 1 章 地 域 及 び 地 積

第 1 節 地 域

事業名	地 域 の 所 在
(維持管理)	沖縄県国頭郡今帰仁村 ・字崎山・字平敷・字謝名・字湧川・字天底・字勢理客

第 2 節 地 積

市町村名 \ 現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	樹園地 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
今 帰 仁 村	—	39.4	0.4 (0.4)	—	—	39.8 (0.4)	土地原簿による ()はハウス面積
計	—	39.4	0.4 (0.4)	—	—	39.8 (0.4)	—

第 3 節 地 区 概 要

事 業 名	地 区 名	受益面積(ha)			事 業 概 要
		畑	その他	計	
基盤整備促進事業	謝名西	7.7	-	7.7	区画整理 A=8.1 ha 畑地かんがい(ファームポンド1基 300m ³) A=8.1 ha
農業基盤整備促進事業	天底第1	0.4	-	0.4	ハウス施設 A=0.4ha
農業基盤整備促進事業	天底第2	12.6	-	12.6	畑地かんがい施設 A=12.6ha
農業基盤整備促進事業	崎山	19.1	-	19.1	畑地かんがい施設 A=19.1ha
合 計		39.8	-	39.8	

第2章 地域の現況

第1節 地形

1. 地形、土壌及び浸食の程度

地 目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備 考
傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100～ 1/20	1/20 ～1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° 15° ～	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
面積(ha)	—	—	—	—	—	—	39.8	—	—	—	—	39.8	60	5	—
比率(%)	—	—	—	—	—	—	100	—	—	—	—	100			

[畑土壤]

項 目 土 壤 統 区 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備 考	
	土 壤 断 面							堆 積 様 式	母 材	畑 かん	区 画 整 理	計		
	色	腐 植	礫 層	酸 化 沈 澱 物	土 性									泥 炭 層 黒 泥 層 及 び グ ラ イ 層
					表 土	下 層 土								
					一 層	二 層	三 層							
多良間統	褐色	含	含	なし	LIC	HC	HC	なし	残積	石灰岩	19.5	19.1	19.5	0.4haはハウス 施設である。
中川統	褐色	含	含	なし	LIC	HC	HC	なし	残積	石灰岩	7.7	7.7	7.7	—
糸洲統	赤色	含	含	なし	HC	HC	HC	なし	残積	石灰岩	0	—	0	—
為又1統	赤色	含	なし	なし	HC	HC	HC	なし	残積	石灰岩	0	—	0	—
阿蛇尼原統	黄色	含	なし	なし	LIC	CL	CL	なし	残積	石灰岩	11.2	—	11.2	—
カーラ岳統	黄色	含	含	なし	CL	CL		なし	残積	石灰岩	0	—	0	—
並里統	赤色	含	含	なし	SIC	SIC	SIC	なし	残積	石灰岩	0	—	0	—
摩文仁統	褐色	含	なし	なし	HC	HC	HC	なし	残積	石灰岩	1.4	—	1.4	—
計											39.8	26.8	39.8	—

2. 土地分類

該当なし

第 2 節 気象及び海象

1. 一般気象

1967年～2010年 平成28年時点（測候所名：名護測候所 標高 6.1m）

年平均気温 22.6° C

年降雨量 2,019 mm

2. 特殊気象

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
名 護 測 候 所																
観 測 期 間	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	
1967年 ゝ 2010年																
最大日雨量 (mm)	458	69. 10. 7	—	274	97. 8. 7	—	270	7. 11. 4	—	265	71. 8. 11	—	234	84. 8. 19	—	—
最大時間雨量 (mm)	109	69. 10. 7	—	97	69. 10. 7	—	91	85. 8. 14	—	79	71. 8. 6	—	76	98. 10. 4	—	—
最大連続雨量 (mm)	680	69. 10. 8	—	557	72. 7. 25	—	528	59. 10. 16	—	507	85. 8. 18	—	418	2. 9. 23	—	—

（水土里ネット沖縄 気象統計データより）

第 3 節 水 利 状 況

1. 用 水 状 況

本地区の畑については、ファームポンドを利用したかんがい施設であり、農業基盤整備促進事業、国営かんがい排水事業及び関連事業の施行によりパイプラインによる畑地かんがいが確立されている。

2. 排 水 状 況

本地区は、排水路が整備されていて下流の河川へ流れているため、過湿・湛水被害は生じていない。

第 4 節 耕地面積

1. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

区 分 市町村名	農家総戸数 （戸）	経営耕地広狭別農家数（戸）										1戸当たり平均 農用地面積（ha）						耕地の 分散 状況		専業別 農 家 数(戸)			備 考
		例 外 規定の 適用を 受ける もの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	自給的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸 当 た り 団 地 数	団地 当 た り 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
																					第 1 種	第 2 種	
今帰仁村	600	13	83	198	85	34	21	13	7	2	144	—	0.9	0.9	1.8	2.4	4.2	—	—	286	68	91	445
計	600	13	83	198	85	34	21	13	7	2	144	—	0.9	0.9	1.8	2.4	4.2	—	—	286	68	91	
比率(%)	100	2.2	13.8	33.0	14.1	5.7	3.5	2.2	1.2	0.3	24	—	22	21	43	57	100	—	—	65	15	20	

(2015年農業センサス・第46次沖縄農林水産統計年報)

2. 水田期別作付面積 該当なし

市 町 村 名		今 帰 仁 村		計	平 均	作付率	備 考
耕 作 地 面 積							
区 分 作物名		作付面積	単位面積 当収量	作付面積	単位面積当 収 量		
田							
畑							
樹園地							
計							
市町村別延作付率							

第 3 章 維持管理計画

第 1 節 目 的

地区内の土地改良事業(区画整理・農業用道路・農業用排水施設・創意工夫発揮事業)で造成及び施行される土地改良施設を維持管理することにより、当事業の効果が持続されることを目的とする。

第 2 節 かんがい施設関係

1. かんがい施設の種類、規模及び構造

(1) 地 下 ダ ム 該当なし

名 称				位 置						
堤 体	形 式	流域面積(Km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地 盤地 質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
洪 水 吐	形 式	洪水量(m ³ /s)	備 考	取水施設	形 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	形 式	放 流 量 (m ³ /s)	
									な し	

(2) 貯 水 池 該当なし

名 称				位 置						
堤 体	形 式	流域面積(Km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体面積(千 m ³)	基礎地盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
洪 水 吐	形 式	洪水量(m ³ /s)	備 考	取水施設	形 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	形 式	放 流 量 (m ³ /s)	
									な し	

(3)頭 首 工

該当なし

(4)用 水 路 該当なし

項 目 水 路 名	支配面積(ha)	通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	こ う 配 (%)	主要構造物	備 考
			総延長	開きよ	その他				
計									

(5)用 水 路 (県営) 該当なし

項 目 地 区 名	規 格	数 量 (m)	備 考

(6)付帯施設 該当なし

(イ) 分水施設

(ロ) 通気施設

(ハ) 管理施設

第 3 節 用水施設関係

1. 用水施設関係

(1) 用水施設

項目	施設名	謝名西
ポンプ台数 (台)		2
ポンプ口径 (mm)		65
総出力 (kw)		11
最大吐出量 (m ³ /min)		0.77

(2) 用水路

項 目 地 区 名	規 格	数 量 (m)	備 考
謝名西	(ファームpondからの配水管)	3,512.2	—

2. 維持管理の方法

イ. 崎山地区は地区の水利組合が管理する。

ロ. 謝名西地区は土地改良施設維持管理規定を設けて管理する。

第 4 節 農業用道路、その他のうちの保全又は利用上必要な施設関係

1. 施設の種類

(1) 農業用道路 該当なし

項 目 地 区 名	規 格	数 量 (m)	備 考

(2) 排 水 路（区画整理関連） 該当なし

項 目 地 区 名	規 格	数 量 (m)	備 考

2. 維持管理の方法

イ. 土地改良施設維持管理規定を設けて管理する。

ロ. 農業用道路、排水路の維持管理については関係地域と綿密に連絡を取り農道、排水路の保全につとめ遺憾のないようにする。

第 5 節 他の事業との関係

(1) 国営関連かんがい排水事業（末端かんがい施設）（該当なし）

項目 名称	面積	延長等	構造	備考

(2) 国営関連かんがい排水事業（関連ため池） 該当なし

項目 名称	面積	延長等	構造	備考

(3) 維持管理の方法

今帰仁村土地改良区が維持管理を行う。

第4章 事業費

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 維持管理費 | 1,054,000 円 |
| 2. 資金計画 | 経常賦課金(地積割)として徴収している。 |

維持管理費		
謝名西		
電力費	900,000	円
人件費	40,000	円
修理費	114,000	円
合計	1,054,000	円

第5章 効 用

土地改良施設を適正に維持管理することにより、施設の適正な利用及び圃場の表土流出の未然防止等を図ることができ、その結果として受益農家の農業経営安定化による増収・増益が期待できる。